SJQU-QR-JW-013（A0）

**上 海 建 桥 学 院**

\_\_\_\_\_\_\_日语语言学概论\_\_\_\_\_课程教案

周次 1 第1次课 2 学时 教案撰写人 邱根成

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 课程单元名称 | 绪论、第一章 日语语音 | |
| 本次授课目的与要求  日本語の音声に関する基礎知識  音節、韻律及び音声変化 | | |
| 教学设计思路  先ず中国語の音声と比べて、日本語の音声の基本特徴を述べてみる。次に練習問題を確認して、授業の内容に対する理解を進めるつもりである。 | | |
| 本次教学重点与难点  特殊音と語彙の関係  音韻変化の発生メカニズム | | |
| 教学内容提要及时间分配 | | 教学方法与手段设计 |
| 教学内容与时间分配基本如下，原则上根据授课进展，可能做适当的调整，鼓励学生积极参与加深理解，力求提高课堂授课教学效果。  毎回90分間  緒論　　　　　　　　　　　25分間  入門基礎知識　　　　　　　20分間  音節とモーラ　　　　　　　15分間  日本語の音韻変化　　　　　15分間  練習（同時進行）　　　　　15分間 | | 根据课堂授课特点，教学方法通过互动形式，实施手段是教师围绕内容重点，通过多媒体课件与学生交流。即根据章节顺序，首先确认学生有无提问，然后按顺序说明重点，并结合习题向学生提问，最后评价小结。由于教材具有较多专业知识，体现出较强的专业性。为了帮助学生理解，主要围绕重点内容，力求同已学知识形成衔接。具体互动模式为：询问→解说→提问→评价。 |
| 课外复习、预习要求及作业布置  授業内容を復習し、第一章の宿題をやると共に、決まった時間内に解答を提出すること、また、第二章を予習すること。 | | |
| 课后反思 | 勉強した内容について理解と記憶ができるように、要点を纏めて概説すること。特に、学生の意見を踏まえて授業の内容を更に充実させることにする。 | |

**上 海 建 桥 学 院**

\_\_\_\_\_\_\_日语语言学概论\_\_\_课程教案

周次2 第2次课 2 学时 教案撰写人 邱根成

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 课程单元名称 | 第二章 第一节符号与词义、第二节 语义分类 | |
| 本次授课目的与要求  言語の記号と語義  語義の分類 | | |
| 教学设计思路  言語の記号と語義から、日本語における語彙特徴である事を述べてみる。次に練習問題を確認して、授業の内容に対する理解を進めるつもりである。 | | |
| 本次教学重点与难点  言語の記号機能  語義の分類法 | | |
| 教学内容提要及时间分配 | | 教学方法与手段设计 |
| 教学内容与时间分配基本如下，原则上根据授课进展，可能做适当的调整，鼓励学生积极参与加深理解，力求提高课堂授课教学效果。  毎回90分間  第二章の概説　 　　　　　20分間  言語記号と語義　　　　 20分間  概念語義と付加語義　　　 20分間  語法語義と場面語義　　　　　15分間  練習（同時進行）　　 　　15分間 | | 根据课堂授课特点，教学方法通过互动形式，实施手段是教师围绕内容重点，通过多媒体课件与学生交流。即根据章节顺序，首先确认学生有无提问，然后按顺序说明重点，并结合习题向学生提问，最后评价小结。由于教材具有较多专业知识，体现出较强的专业性。为了帮助学生理解，主要围绕重点内容，力求同已学知识形成衔接。具体互动模式为：询问→解说→提问→评价。 |
| 课外复习、预习要求及作业布置  授業内容を復習し、第二章前半の宿題と小テストをやり、決まった時間内に解答を提出すること、また、第二章後半を予習すること。 | | |
| 课后反思 | 勉強した内容について理解と記憶ができるように、要点を纏めて概説すること。特に、学生の意見を踏まえて授業の内容を更に充実させることにする。 | |

**上 海 建 桥 学 院**

\_\_\_\_\_\_\_日语语言学概论\_\_\_\_课程教案

周次3 第3次课 2 学时 教案撰写人 邱根成

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 课程单元名称 | 第二章 第三节 语义的聚合 第四节 词义的组合、 | |
| 本次授课目的与要求  多義語の連合的関係  類義語の統語的関係 | | |
| 教学设计思路  引き続きテキストの内容を説明する一方、表記法に関する注意点を中心に、語例の比較を通じて授業を進めるつもりである。 | | |
| 本次教学重点与难点  多義語の連語関係に対する理解  類義語の統語関係に対する理解 | | |
| 教学内容提要及时间分配 | | 教学方法与手段设计 |
| 教学内容与时间分配基本如下，原则上根据授课进展，可能做适当的调整，鼓励学生积极参与加深理解，力求提高课堂授课教学效果。  毎回90分間  多義語の連合関係 　20分間  類義語の連合関係 　20分間  類義表現の語義の連合関係　　15分間  語義統語の語義量　　　　　　20分間  練習（同時進行）　　 15分間 | | 根据课堂授课特点，教学方法通过互动形式，实施手段是教师围绕内容重点，通过多媒体课件与学生交流。即根据章节顺序，首先确认学生有无提问，然后按顺序说明重点，并结合习题向学生提问，最后评价小结。由于教材具有较多专业知识，体现出较强的专业性。为了帮助学生理解，主要围绕重点内容，力求同已学知识形成衔接。具体互动模式为：询问→解说→提问→评价。 |
| 课外复习、预习要求及作业布置  授業内容を復習し、第二章後半の宿題と小テストをやり、決まった時間内に解答を提出すること、また、第三章を予習すること。 | | |
| 课后反思 | 勉強した内容について理解と記憶ができるように、要点を纏めて概説すること。特に、学生の意見を踏まえて授業の内容を更に充実させることにする。 | |